

DS-61G

ティグ溶接用
溶加棒
標色 白

熱間冷間金型肉盛用

用途

プレス金型、ダイカスト金型、押しダイスなどの硬化肉盛に使用します。

使用特性

1. DS-61GはSKD61に類似した組成の溶着金属を得る硬化肉盛用のティグ溶加棒です。
2. 溶着金属は耐熱、耐食、耐摩耗、耐衝撃性に優れております。
3. SKD11相当材の熱処理(総焼入れ)後の修正時に1~2層で母材と同等の硬度が得られます。

使用上の注意

1. 母材成分、大きさ、形状によって施工方法が異なりますが、共材や炭素量の多い材料に対しては少なくとも予熱は350℃以上与えてください。
2. 層間温度は200~300℃が必要で溶接後徐冷してください。
3. 溶接後の使用条件によっては更に熱処理する必要があります。
4. 応力除去には500℃の後熱を与えてください。

溶着金属の化学成分の一例(%)

C	Si	Mn	Cr	Mo	V
0.37	1.01	0.43	5.06	1.28	1.10

溶着金属の硬さの一例(母材 SKD61)

	HV	HRC	HS	母材
溶接のまま	500	49	66	SKD61
	640	57	77	SKD11

溶接棒の寸法(mm)

棒径	1.6	2.0	2.6	3.2	4.0
棒長	1000				